

## 確率統計☆演習 I Trial L03

樋口さぶろお<sup>1</sup> 配布: 2016-10-06 Thu 更新: Time-stamp: "2016-10-02 Sun 15:25 JST hig"

### 1

下の離散型 1 変量データを考える.

2, 8, 10, 11, 12, 12, 12, 14, 18.

1. 最頻値を求めよう.
2. 平均値を求めよう.
3. 中央値を求めよう.
4. 第 1 四分位数を求めよう.
5. 第 3 四分位数を求めよう.

### 2

お菓子の重さを測ったデータ  $x(\text{g})$  の四分位数と平均値が次のように与えられる. 箱ひげ図を描こう. 箱ひげのどの部分がどの値かわかるように, 座標軸上に,  $Q_1, Q_2, \dots$  の位置を示すこと.

$Q_0 = 50.0\text{g}$ ,  $Q_1 = 68.5\text{g}$ ,  $Q_2 = 74.5\text{g}$ ,  $Q_3 = 81.8\text{g}$ ,  $Q_4 = 93.4\text{g}$ , 平均値  $\bar{x} = 74.3\text{g}$ .

12 点満点. × N:NG ワード/アイデア, × P:過程なし, ×か:考え方の誤り, ×き:記号の誤り, ×け:計算ミス

<sup>1</sup>Copyright © 2016 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.  
 hig@math.ryukoku.ac.jp, <http://hig3.net>(授業のページもここから), へや:1 号館 5 階 502

## 略解

### 1

1. 最頻値 = 12
2. 平均値 = 11
3. 中央値  $Q_2 = 12$
4.  $Q_1 = 9$
5.  $Q_3 = 13$

### 2

- $Q_0$  左のひげの端  
 $Q_1$  箱の左辺  
 $Q_2$  箱の真ん中の線  
 $Q_3$  箱の右辺  
 $Q_4$  右のひげの端  
 $\bar{x}$  十字型